



昨11月19日（日）14：00から、議員会館前で行なった「第96回総がかり行動」には、1100人のみなさんが参集。調布からも12人が参加しました。今回は大本久美さんががんばって写真とレポートを寄せてくれましたのでお届けします。この日は続いて新宿駅東口で、実行委員会主催の「パレスチナに平和を！ 11・19緊急行動、新宿デモ」がおこなわれましたが、大本さんは、これにも参加して写真を寄せてくれました。（編集部）

イスラエルによるガザ攻撃の中止と岸田政権の「戦争国家」づくりの中止を 1100人が参集 調布からは12人 第96回総がかり行動

衆議院第2議員会館前でとりくんだ「19日行動」には。「ガザ停戦に日本は関与を！」「だれもころすな Stop Gaza Genocide」「九条による平和外交を！」などのプラカードを掲げて1100人が参加し、調布からもいてもたってもいられないと12人が参加しました。

<主催者挨拶>

◆米山淳子さん（憲法共同センター、新婦人会長） 核兵器使用もちらつかせるイスラエルにアメリカの顔色を窺い即時停戦を求めない岸田政権には。被爆国日本の首相の資格はない。連帯を広めたい。

<政党あいさつ>

◆高良鉄美さん（沖縄の風） 今日11月19日は55年前沖縄嘉手納基地に核兵器を積んでいたとされるB52が墜落した日。宮古島にミサイル基地が建設されようとしているが住民には一切の説明がない。今のガザをみると78年前の沖縄を思い出す

◆岩淵友さん（共産党） イスラエルはガザ攻撃を直ちに中止、どんな理由があろうとも病院や子どもたちへの攻撃は許されない。政権内の相次ぐ不祥事もひどい、市民と野党の共闘で岸田内閣退陣へ。

◆福島みずほさん（社民党） 国立大学法人法改正法案、こんな法律とんでもない。成立反対に頑張っていこう。殺傷能力のある武器輸出についても密室で議論されている、勝手に決めるな。憲法審査会でも自民、公明は憲法を壊すことばかりをやっている。イスラエルのガザ攻撃、4時間停戦が出来たらもっとできるはず、日本で、世界で声を上げ行動して行こう。

◆立憲民主党からはメッセージ

<市民から>

◆西山千恵子さん（市民連合フェミブリッジアクション） 男性主導の政治の中で不安定雇用など政策の不備のしわ寄せを女性が受けている、政治構造を変えていこう。

◆新土さん（作家） この間(8月まで)パレスチナにいた。今日の空はとてもきれいだがパレスチナの空もほんとにきれい。沖縄の人たちがふるさと沖縄を守るために戦っているように、パレスチナの人たちも自分たちのふるさとを守るために戦っている。今この瞬間にもイスラエルの攻撃はあり子どもたちは命を落としている。パレスチナには「ナクバ」という言葉がある、これは「アウシュビッツ」と同じ。目の前で子どもが殺されるのを見た。今どうということが起きているかを知ってほしい。ほんとにほんとに1秒、1秒が戦い！先日も病院が攻撃され白血病の治療を受けてい

る子どもたちは治療を受けられなくなった。私も白血病だが治療を中止した。今すぐ停戦を！



「直ちにガザ停戦を」と緊急行動 東京・新宿

総がかり行動実行委員会、9条改憲NO! 全国市民アクションなどをつくる「パレスチナに平和を! 緊急行動実行委員会」が呼びかけた「11・19緊急新宿デモ」は、16時に新宿駅東口広場にあつまった後、大ガード下を出発。「虐殺やめろ!」「国際法を守れ!」「ストップ・ジェノサイド(集団殺害)」の声を響かせました。

